

レモンサワー  
もっとおいしい。

第2特集



## ニッポンの美酒。

7/1  
2020 No.498  
定価 700 yen

2020年7月1日発行(毎月2回1日・15日発行)8月15日発売 第24巻11号(通巻498号)  
1997年3月10日第三種郵便物認可



福田充徳(チュートリアル) Mitsunori Fukuda お笑い芸人

●1998年、徳井義実とチュートリアル結成。2006年「M-1グランプリ」で優勝。かつては家呑みを趣味としていたなどの酒好き。10年に出版した「チュートリアル福田充徳の家呑みレシピ!」(ワニブックス)で料理の腕前を披露。

出合って以来、芋焼酎のおいしさに目覚め、家の“常備酒”に。

「口ケで鹿児島へ行った時、飲み屋のおばちゃんに薦められたのがこの八千代伝。あまりのおいしさに取り寄せて常備してます」という福田さん。それまでは麦焼酎一辺倒だったが、八千代伝を飲み始めてから芋焼酎のおいしさに目覚めたという。「昔の芋焼酎は芋臭さが鼻につくイメージだったけど、最近はすごく飲みやすくなったり。この八千代伝もしっかりしているのに洗練されて

る」。2018年農業法人に認定された鹿児島の八千代伝酒造は、原料のサツマイモや麦をすべて自家栽培。品質管理を徹底して行っている。「全部自分でつくれるのがすごい。決して手抜きしないぞって思い入れが感じられます」

家呑みのおつまみ本を出版したこともあり、料理もかなり腕前の福田さん。「八千代伝は食中に飲むことが多いですよ。豚の角煮とか、南蛮漬

けとかが合うんじゃない? この間もサバを唐揚げにして甘酢漬けにしたらうまかったね」

4年前に家庭をもち、子どもができたからは家呑みのスタイルも一変したという。「独身時代は好きな時に好きなだけ飲んでたけど、いまはそうはいかない。だから夜、ひとりで飲む時間がとても貴重に思える。ゆっくりリラックスしながら八千代伝をロックで楽しんでいます」